

●株主の皆様へ●

第59期 第2四半期報告書

2018年3月1日▶2018年8月31日

Plenus

証券コード：9945

株式会社プレナス



代表取締役社長 塩井 辰男

■ 2019年2月期第2四半期 連結業績サマリー

売上高	766 億円	前年同期比 + 4.3%
売上原価	371 億円	前年同期比 + 9.8%
売上総利益	395 億円	前年同期比 △ 0.5%
販売費及び一般管理費	394 億円	前年同期比 + 8.2%
営業利益	17 百万円	前年同期比 △ 99.5%
経常利益	293 百万円	前年同期比 △ 91.1%
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△ 358 百万円	前年同期比 —
国内グループ店舗数	3,147 店舗	前期末比 + 40 店舗

■ 2019年2月期 連結業績予想

通期の連結業績は、売上高 1,587 億円(前期比 8.9%増)、営業利益 13 億円(同 73.9%減)、経常利益 17 億円(同 67.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益 0 億円と予想しております。

(※ 2018 年 4 月に公表した予想から修正しております。)

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに、当社グループの第 59 期(2019 年 2 月期)上半期の業績と主な取り組みについてご報告いたします。

上半期の経営概況と業績

上半期における外食産業は、原材料価格や物流費の上昇、人手不足に伴う人件費の上昇等、引き続き厳しい事業環境が続きました。

こうした状況の中、当社グループではお客様の満足度向上に努めるべく、商品力、店舗販売力の強化を目指すと共に、中長期での安定的な成長を見据え、さらなる事業基盤の強化に注力しました。商品力の強化につきましては、当社グループだから提供できる、競合が真似出来ない商品の開発によって優位性の再構築を図りました。店舗販売力の強化につきましては、クルーの採用・育成の強化とクルー満足度の向上、オペレーションの改善、サプライチェーンマネジメントの強化によって、お客様の満足度向上に努めました。

以上の結果、上半期の連結業績につきましては、既存店売上が前年同期実績を下回ったものの、子会社の臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)などの新規連結や、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、増収となりました。利益面につきましては、主に商品力強化・人材確保・育成への投資、仕入コストの上昇により、減益となりました。

今後の取り組みについて

こうした状況の中、当社は製造小売チェーンへの転換を実現することを大きな戦略として推進しております。お客様に喜んでいただける商品を製造・供給できる体制を強化し、さらに競争力のある店舗の実現に注力してまいります。

2018年8月末には埼玉県北葛飾郡杉戸町に新食品総合工場が完成しました。年間生産能力約3万トンを誇る当社グループ最大の食品工場で、最新かつ効率的な生産システムを導入することで、幅広い基幹商品の内製化を推進してまいります。

また、既存の精米工場、食肉加工工場、調味料製造工場にこの新工場が加わり、これらの工場群は全て物流センターに隣接しておりますので、原料・製品の物

流を最大限に効率化することが可能となり、これまで以上に競争力のある付加価値の高い商品を供給することで、店舗へのサポートを強化してまいります。

配当金について

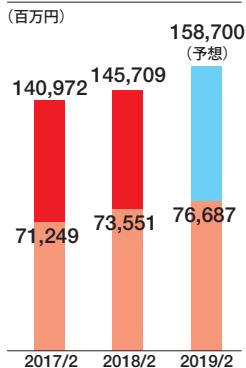
当社は、1株当たり年間配当60円または、年間配当性向50%を達成する金額のいずれか高い額をお支払いすることを、配当の基本方針としております。

これに基づき、当期の中間配当金につきましては、1株当たり30円とさせていただきます。なお、2019年2月期の年間配当は60円を予想しております。

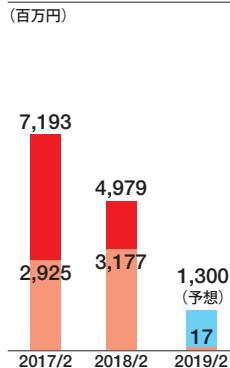
株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連結業績の推移

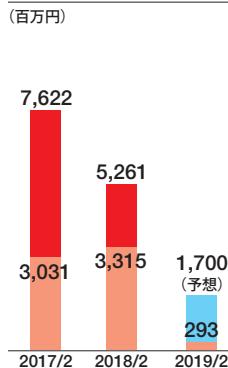
売上高



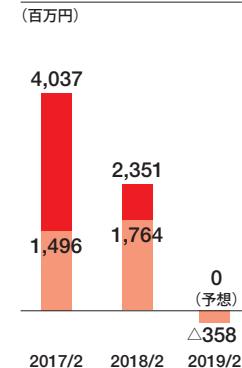
営業利益



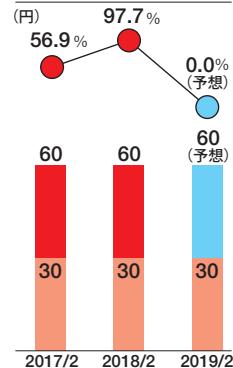
経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



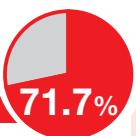
配当金・配当性向



■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期(予想)

事業別の概況

売上構成比



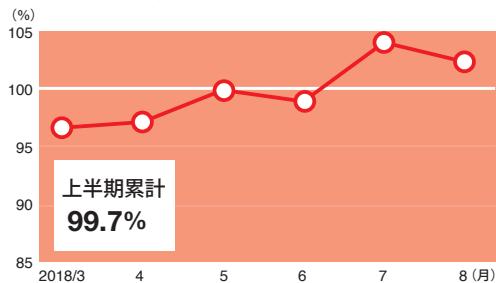
ほっともっと事業

つくりたてのあたたかいお弁当を販売する「ほっともっと」を全国で展開しています。持ち帰り弁当のトップブランドとして、おいしいごはんにこだわり厳選した高品質の国産米を使用し、店内調理によるできたてのお弁当を提供しています。



2019年2月期 第2四半期 実績	前年同期比	
売上高	550億16百万円	+ 2.5%
営業損失	2億33百万円	—
国内店舗数		
出店数	38店	+ 7
退店数	10店	△ 12
期末店舗数	2,751店	+ 81

既存店売上高前年比推移

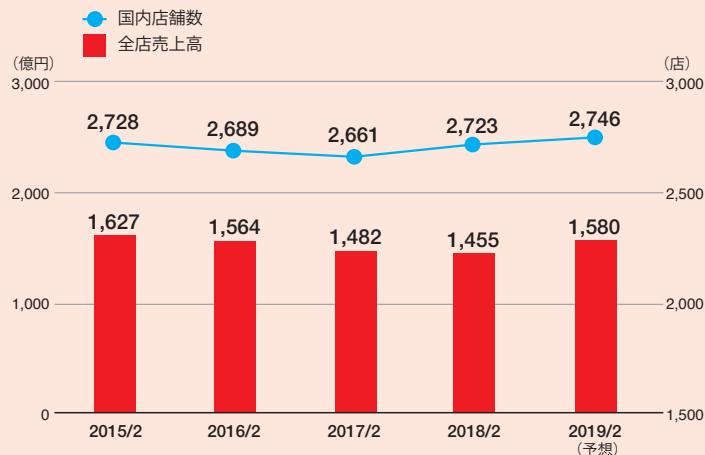


■ 上半期の状況

新ブランドスローガン「やっぱり、お弁当屋さんのおべんとうはおいしい。」を策定し、「のり弁当」の価格改定や、食べ応えのある「カットステーキ重」を発売するなど定番商品の強化を図り、より価値のある商品の提供を行うと共に、TVCMを中心とした新ブランドキャンペーンを展開しました。また、お客様の満足度向上のため、店舗の販売力を強化するべく、積極的に人材確保・育成を行いました。店舗展開につきましては、ほっともっとの新規出店を38店舗、退店を10店舗行い、店舗数は本年8月末現在、47都道府県で2,751店舗となりました。

フランチャイズ展開も引き続き推進しており、「ユニットFC

〔国内店舗数と全店売上高の推移〕



制度」を活用して新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化を進めた結果、ユニットFCの店舗数は前期末 1,044 店舗から本年 8 月末で 1,102 店舗と着実に増加しております。

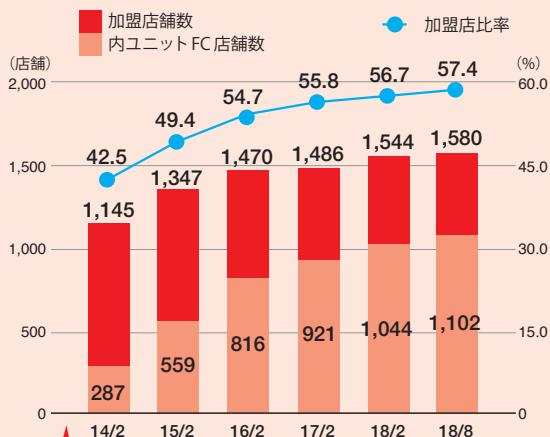
上半期の業績につきましては、売上高は既存店売上高の減少があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。利益面につきましては、主に商品力強化・人材確保・育成への投資、仕入コストの上昇により、前年同期実績を下回りました。

■ 今後の取り組みについて

店舗販売力の強化を図るため、2018年7月1日に「クルーディベロップメント部」及び「店舗オペレーション部」を新設いたしました。福利厚生充実や教育制度の見直しにより、従業員満足度の向上を図ると共に、生産性向上のため、機器の見直しや作業効率アップに全社的に取り組んでまいります。

これらの施策を推し進めながら、これまで取り組んできたユニットFCによるフランチャイズ展開の拡大も継続し、さらなる成長を目指してまいります。

〔加盟店舗数（ユニットFC店舗数含む）の推移〕



ユニットFC制度スタートは 2013/2 期

ほっともっとLINE公式アカウント

「ほっともっと」のLINE公式アカウントでは、新商品やキャンペーン情報など様々なコンテンツを配信し、お客様との新たなコミュニケーションを展開しております。



LINEアプリを起動して
[その他]タブの
[友だち追加]で
QRコードを
スキャンします。

ほっともっと新ブランディング展開をスタート

「ほっともっと」はブランド創設10年を迎え、本年4月より新しくブランドスローガン『**やっぱり、お弁当屋さんのおべんとうはおいしい。**』を策定し、空腹時に「ほっともっと」を思い出していただき、お店に足を運んでいただけるように、TVCMを中心とした新ブランドキャンペーンを展開しています。



新CMキャラクター

国民的な俳優 柳葉敏郎さんが登場

「おいしさ」を伝えていく役として、俳優の柳葉敏郎さんが登場

柳葉さんが食べている姿やその語りだけで、お腹がなってしまうような演技を熱演いただいています。CMごとに様々な職業を演じながら、「ほっともっと」の魅力を伝えていただくコンテンツを展開しています。



CMギャラリー

新サービス

ほっともっとの『ハッピーアワー』スタート

7月10日(火)より3つのおトクサービスが登場!

毎日14時から18時の時間帯に、お得にご利用いただける新サービス、ほっともっとの「ハッピーアワー」がスタートしました。

3つのおトク!

① おかず全16種がお得に

② 「チキンバスケット」を2個ご購入でお得に

③ 「のり弁当」にプラス50円でお得にボリュームアップ



お客様がお弁当に求めること。その本質的な価値を、これまで以上に追求してまいります。

「ほっともっと」のお弁当を召し上がるときに「やっぱり、おいしい」と思っただけのために、これからもお客様の体と心の元気を支える食づくりを目指してまいります。

売上構成比

20.2%

やよい軒事業

日本人の主食である炊きたてのごはんを中心に、みそ汁、そしておかずと副菜などを一つのお膳にバランス良くまとめた『定食』を提供しております。

大切な食事の時間を心から楽しんでいただけるよう、店内は和の落ち着いた雰囲気でご心地のよい空間を演出しております。



2019年2月期 第2四半期 実績		前年同期比
売上高	154 億 77 百万円	+ 5.1%
営業利益	6 億 42 百万円	△ 14.3%
国内店舗数		
出店数	11 店	± 0
退店数	0 店	△ 4
期末店舗数	362 店	+ 26

既存店売上高前年比推移



■ 上半期の状況

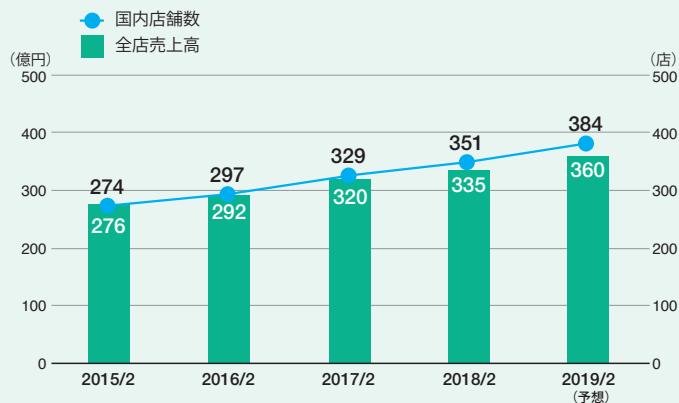
素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「鶏もも一枚揚げ定食」や、「ビーフステーキ定食」等、ターゲットをより明確にした商品の開発や、お子様メニュー半額キャンペーンなどの販売促進活動を展開いたしました。

店舗展開につきましては、国内で 11 店舗出店し、店舗数は本年 8 月末現在、38 都道府県で 362 店舗となりました。

また、「ユニット FC 制度」を活用した新規オーナーの募集と既存店オーナーの多店舗化に注力し、ユニット FC の店舗数は、前期末の 84 店舗から当年 8 月末で 91 店舗となりました。

上半期の業績につきましては、売上高は既存店売上高の減少や直営店の加盟店への移管があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前年同期実績を上回りました。

〔国内店舗数と全店売上高の推移〕



事業別の概況

営業利益は、主に仕入コストの上昇により、前年同期実績を下回りました。

注) 直営店を加盟店に移管することにより、当社の売上高は、店頭売上高ではなく、加盟店に対する食材・包材等資材の販売金額やロイヤリティ等の収入が対象となるため、減少します。

■ 今後の取り組みについて

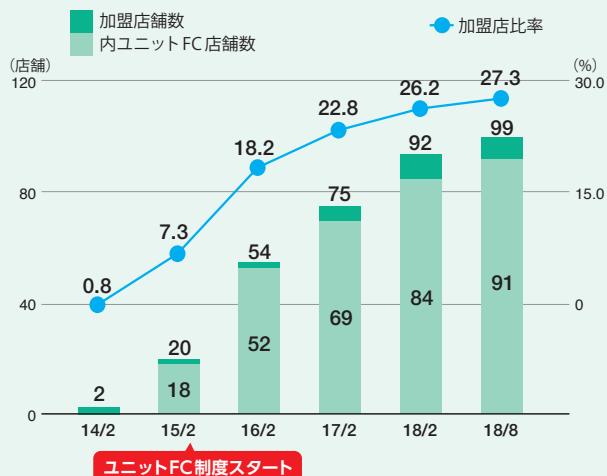
やよい軒事業につきましては、ミドルユーザーの来店頻度向上を軸に、既存商品の価格見直しとブラッシュアップによる女性客の取り込み、新商品の定期的な発売による既存顧客の満足度向上を目指してまいります。季節感を意識した商品や、家庭の味を中心とした商品の開発に注力し、お客

様の満足度を高めると共に、来店頻度の向上を図ってまいります。

店舗展開につきましては、国内の未出店エリアへの新規出店と、既存エリアの出店を並行して行い、「ユニットFC制度」を活用したフランチャイズ展開につきましても、引き続き新規オーナーの獲得に注力すると共に、既存オーナーの多店舗化を推進してまいります。

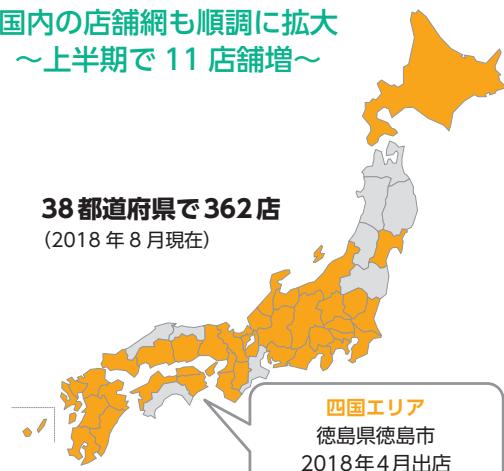
これらの取り組みを推し進め、とりまく環境の変化に対応しつつ、中長期的な事業規模の拡大を図ってまいります。

〔加盟店舗数(ユニットFC店舗数含む)の推移〕



国内の店舗網も順調に拡大 ～上半期で11店舗増～

38都道府県で362店
(2018年8月現在)



売上構成比



MKレストラン事業

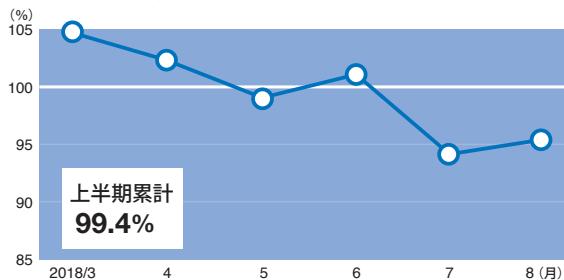
「MK レストラン」は、豊富な具材と個性豊かなスープの組み合わせで、新しい美味しさを何度でも味わえるこだわりのしゃぶしゃぶに加え、本格飲茶や寿司を提供するレストランです。

充実の食べ放題コースの他に、気軽に食べられるセットメニューやランチメニューもご用意しております。



2019年2月期 第2四半期 実績		前年同期比	
売上高	17 億 28 百万円		+ 2.0%
営業損失	11 百万円		—
国内店舗数			
出店数	1 店		± 0
退店数	0 店		± 0
期末店舗数	34 店		+ 1

既存店売上高前年比推移



売上構成比



海外事業

日本のおいしい食をもっと多くの皆様に提供するために、海外への展開を積極的に行っています。世界の人々に「作りたてのおいしい食」、「お客様に満足していただけるサービス」をお届けしてまいります。

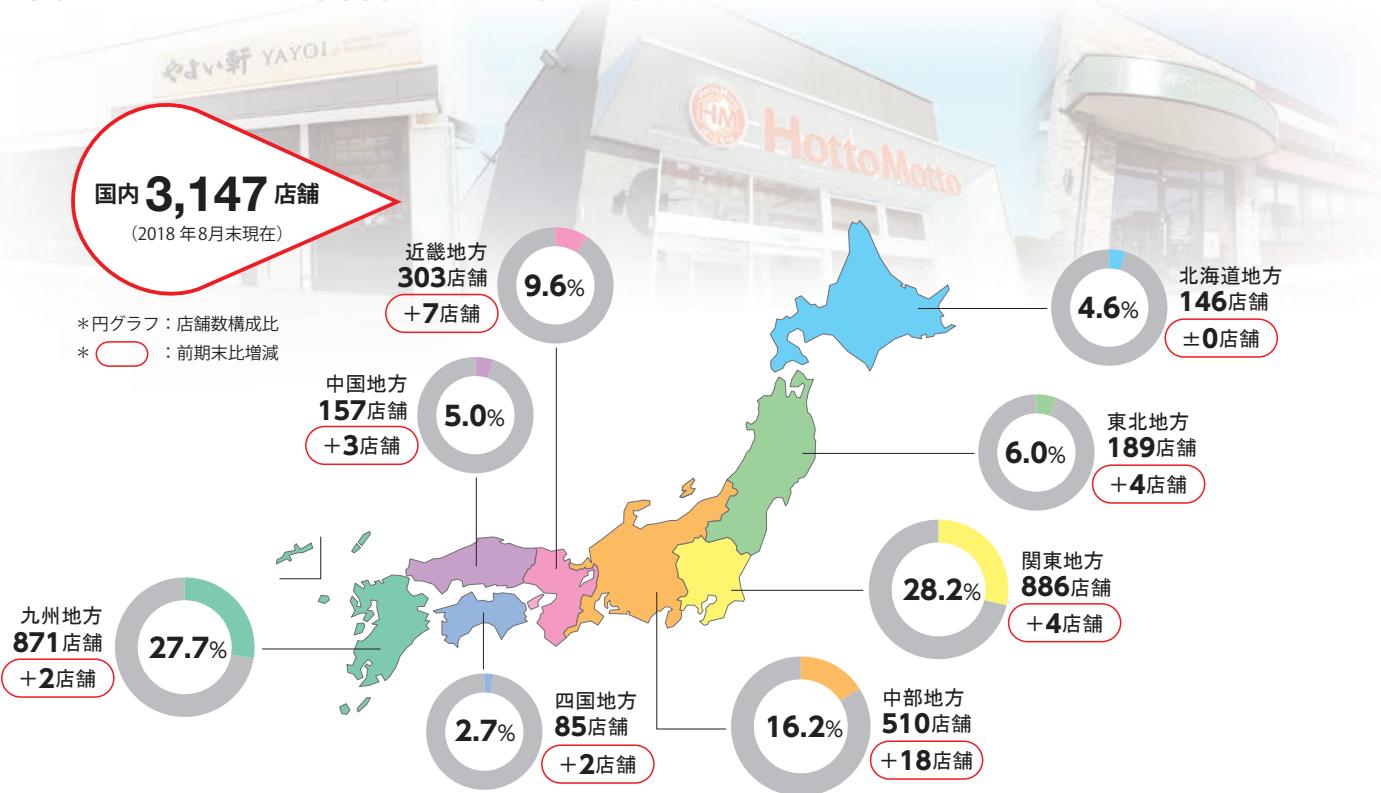


2019年2月期 第2四半期 実績		前年同期比	
売上高	18 億 41 百万円		+ 102.2%
営業損失	3 億 5 百万円		—
海外店舗数			
出店数	15 店		± 0
退店数	3 店		± 0
期末店舗数	224 店		+ 20

海外店舗数の推移



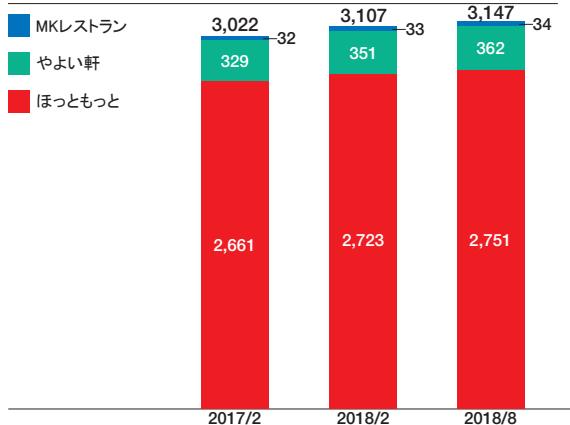
当社グループの国内店舗展開の状況



ブランド別・エリア別店舗数 (2018年8月末現在)

	ほっともっと	やよい軒	MKレストラン	エリア別合計
北海道地方	138	8	0	146
東北地方	186	3	0	189
関東地方	750	132	4	886
中部地方	470	40	0	510
近畿地方	220	83	0	303
中国地方	132	23	2	157
四国地方	80	5	0	85
九州地方	775	68	28	871
ブランド別合計	2751	362	34	3147

ブランド別店舗数の推移



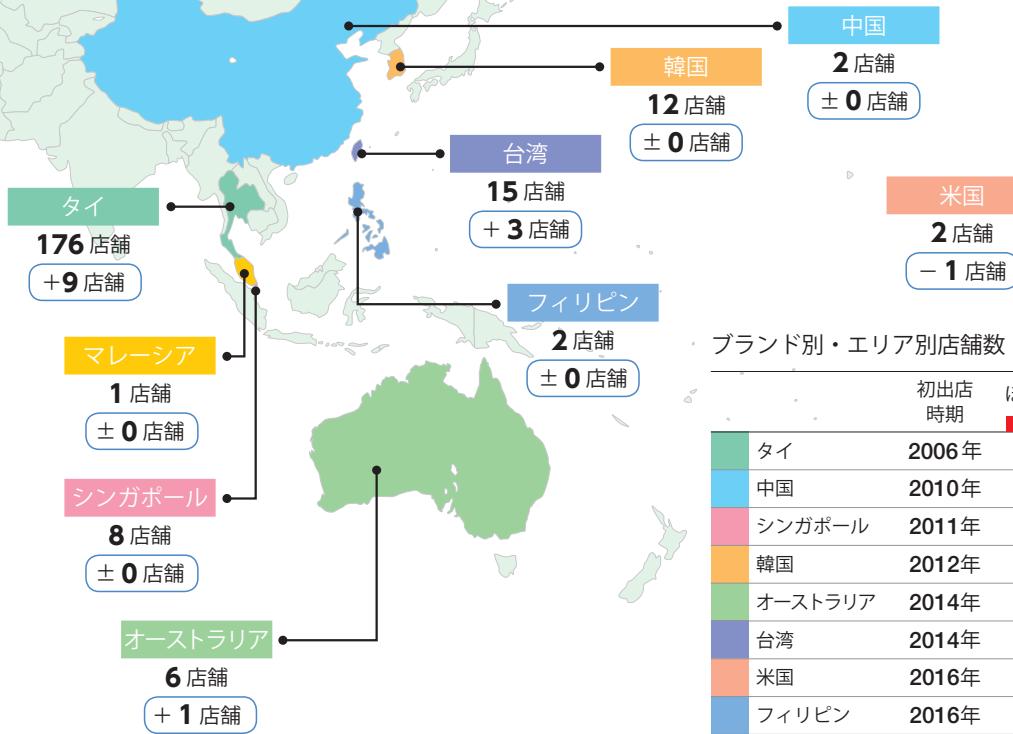
日本の食文化を世界へ。 つくりたてでおいしく、安心安全な食事を提供します。

日本のおいしい食をもっと多くの皆様に提供するために、海外への展開を積極的に行っています。世界の人々に「つくりたてのおいしい食」、「お客様に満足していただけるサービス」をお届けいたします。

海外 **224** 店舗

(2018年8月末現在)

* : 前期末比増減



ブランド別・エリア別店舗数 (2018年8月末現在)

	初出店 時期	ほっともっと	やよい軒	エリア別 合計
タイ	2006年	0	176	176
中国	2010年	2	0	2
シンガポール	2011年	0	8	8
韓国	2012年	12	0	12
オーストラリア	2014年	1	5	6
台湾	2014年	0	15	15
米国	2016年	0	2	2
フィリピン	2016年	0	2	2
マレーシア	2018年	0	1	1
ブランド別合計		15	209	224

トピックス



Hotto Motto
ほっともっと

店内調理の特長を活かし、素材選び、味付けなど、こだわり抜いた商品を提供

「ほっともっと」は、“店内調理による手づくり”を特長とした商品を提供することにより、競合との差別化を図っております。

肉厚の豚バラに国産おろし生姜をのせた『しょうが焼き弁当』や、毎日いつでも新価格で提供する定番商品『のり弁当』など、定番メニューだからそここだわり抜いた商品を提供しました。

肉厚の豚バラに、国産おろし生姜をのせて『しょうが焼き弁当』

4月2日新発売



毎日いつでも新価格 300円 定番商品『のり弁当』

5月1日発売



YAYOI

JAPANESE TEISHOKU RESTAURANT

旬の素材へのこだわりやバリエーション展開による飽きさせないメニューを提供

「やよい軒」は、日本人の主食である炊きたてのご飯を中心に、素材や手づくり感にこだわりながら、みそ汁、おかず、副菜等を一つのお膳にバランスよくまとめた『定食』を、お手頃な価格で提供しております。

熱々の鉄板でいただく『牛焼肉定食』、まぜておいしい『ねばとろごはんと焼魚の定食』、そして今年の猛暑にはガッツリと肉を味わえる『3種のビーフステーキ定食』を発売するなど、幅広いお客様ニーズへの対応を図りました。

2018年 **3月・4月**

熱々の鉄板でいただく『牛焼肉定食』

4月6日新発売



5月・6月

まぜておいしい! 『ねばとろごはんと焼魚の定食』

5月10日発売



暑い夏に向け、肉メニューを充実
『カットステーキ重』

7月2日新発売



7月・8月

暑い夏にガッツリと肉を味わえる
『3種のビーフステーキ定食』

7月19日発売



MKレストラン
CLOSE UP

お得に楽しく食べるなら、選べる食べ放題コース
「飲茶」も「お寿司」も食べ放題

MKのしゃぶしゃぶの食べ方にルールはありません。スープ、ソース、具材、薬味の組み合わせは無量大。様々な味の体験が楽しめます。そして、食べ放題コースでは、「しゃぶしゃぶ」「飲茶」「お寿司」を組み合わせた4コースから選べます。アルコール飲み放題もご用意しており、これからの冬のイベントにもおすすめです。

ご家族と、友人と、お仕事仲間と、MKのしゃぶしゃぶで楽しいひとときをお過ごしください。

Aコース

- しゃぶしゃぶ
- 飲茶
- 寿司

Bコース

- しゃぶしゃぶ
- 寿司

Dコース

- しゃぶしゃぶ

Cコース

- しゃぶしゃぶ
- 飲茶



しゃぶしゃぶ

こだわりのしゃぶしゃぶ! 選べるスープ、豊富な具材!
※2種類までスープが選べます

飲茶

小籠包、シュウマイ、春巻。本格飲茶が勢揃い!

寿司

鮮度に自信! 贅沢なおいしさをこころゆくまで!
※寿司は販売のない店舗がございます



詳しくはMKレストランのWeb サイトへ
<http://www.mkrestaurants.co.jp>



財務データ

■ 連結損益計算書(要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 累計期間	前年同期比
売上高	76,687	3,136 (+ 4.3%)
売上原価	37,186	3,321 (+ 9.8%)
売上総利益	39,500	△ 185 (△ 0.5%)
販売費及び 一般管理費	39,483	2,975 (+ 8.2%)
営業利益	17	△ 3,160 (△ 99.5%)
経常利益	293	△ 3,022 (△ 91.1%)
親会社株主に帰属 する四半期純損失	△ 358	△ 2,122 (—)

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 会計期間	前期末比
流動資産	22,947	△ 2,309
固定資産	70,001	3,758
負債	28,551	3,150
純資産	64,396	△ 1,701
総資産	92,948	1,448

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

	当第2四半期 累計期間	前年同期比
営業活動による キャッシュ・フロー	4,615	553
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 4,903	△ 2,207
財務活動による キャッシュ・フロー	195	1,369
現金及び現金同等物 に係る換算差額	△ 27	△ 25
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	△ 119	△ 310
現金及び現金同等物 の期首残高	11,181	△ 4,244
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	128	24
現金及び現金同等物 の四半期末残高	11,126	△ 4,592

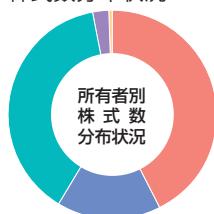
■ 会社概要 (2018年8月31日現在)

商号	株式会社プレナス (英文名 PLENUS Co., Ltd.)
創業	1960年3月
設立	1976年11月
資本金	34億61百万円
福岡本社	福岡県福岡市博多区上牟田一丁目19番21号
東京本社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号
従業員数	1,318名 上記従業員のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は6,490名(1日8時間換算)であります。

■ 株式の状況 (2018年8月31日現在)

発行可能株式総数	92,568千株
発行済株式の総数	44,392千株
株主総数	63,138名

株式数分布状況



個人・その他	金融機関	その他国内法人	外国法人等	証券会社
18,952	7,106	17,021	1,074	237
42.7	16.0	38.3	2.4	0.5

*個人・その他には、自己名義株式6,103千株(13.7%)を含んでおります。

■ グループ会社 (2018年8月31日現在)

【国内】(子会社)	(株)プレナス・エムケイ
	(株)プレナスフーズ
	(株)プレナスワークサービス**
	宮島醤油フレーバー(株)
	(株)フーディフレーバー
(関連会社)	(株)九州トーヨー
【海外】(子会社)	北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)
	PLENUS AusT PTY. LTD.(オーストラリア)
	臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)
	Plenus, Inc.(米国)
	Plenus Global Pte. Ltd.(シンガポール)
	BayPOS, Inc.(米国)
	(関連会社) PLENUS & MK PTE. LTD.(シンガポール)
YK Food Service Co., Ltd.(韓国)**	

**連結の範囲に含まない子会社及び関連会社

■ 役員 (2018年8月31日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	塩井 辰男
専務取締役 専務執行役員	大楠 泰弘
専務取締役 専務執行役員	田淵 豪
常務取締役 常務執行役員	金子 史朗
常務取締役 常務執行役員	鈴木 博
常務取締役 常務執行役員	布山 稔
取締役 上席執行役員	立花 英信
社外取締役	長沼孝一郎
取締役 監査等委員	高橋 勉
社外取締役 監査等委員	礪山 誠二
社外取締役 監査等委員	吉戒 孝
社外取締役 監査等委員	松淵 敏朗
上席執行役員	山内チズル
執行役員	一條 眞理
執行役員	田中 信
執行役員	森安 秀範
執行役員	香月 英樹
執行役員	漆 新吾
執行役員	小森 剛
執行役員	添島 修
執行役員	嶋田 哲
執行役員	山村 昌慶
執行役員	廣藤 明
執行役員	酒井 直隆

株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	毎年5月
株主確定日	
定時株主総会	2月末日
期末配当	2月末日
中間配当	8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。(当社ホームページに掲載。)但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先及び 電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎ 0120-288-324

株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き(住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等)のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先
お取引のある証券会社等へお問合せください。

■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先
みずほ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)へお問合せください。
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 ☎ 0120-288-324

※未払い配当金について
未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

株主優待制度について

(1) 対象となる株主様

毎年2月末日の株主名簿に記載、または記録された100株(1単元)以上を1年以上継続保有されている株主様を対象といたします。

※1年以上継続保有とは、「当年2月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同じ株主番号で前年の2月末日、8月末日に記載、または記録されていること」といたします。

(2) 優待の内容

毎年2月末日の対象株主様に、当社グループ国内店舗で使用可能な株主様限定の『株主お買物優待券』を贈呈いたします。(年1回)

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	500円『株主お買物優待券』5枚
1,000株以上	500円『株主お買物優待券』10枚

(3) 贈呈の時期

5月下旬にご送付いたします。



株主お買物優待券見本

当社の株主優待制度は、「ほっともっと」「やよい軒」「MK レストラン」で『株主お買物優待券』をご利用いただける制度です。当社グループ店舗をご利用いただき、当社グループの商品・サービスに対するご理解を深めていただければ幸いです。

お問合せ先

株式会社プレナス 会計本部 経営管理室

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号 日本橋弥生ビルディング TEL.03-6892-0304
ホームページアドレス <https://www.plenus.co.jp/>